

## 学位論文審査の結果の要旨

渡邊英明

本研究は、新世界ザルの1種であるヨザルの卵子、精子を用いて、ピエゾマイクロマニピュレーターによる卵細胞質内精子注入法 (Intracytoplasmic sperm injection: ICSI) を試み、初めて胚の作出に成功したものである。また、ピエゾマイクロマニピュレーターによる ICSI が、ヒト卵子で用いられてきたこれまでの ICSI に比べ、生存卵子率および受精率を高めることを示し、有用であることを明らかにした。

本研究結果は、哺乳動物における配偶子の有効利用や遺伝子保存に寄与する有益な知見を提示し、ヒトの不妊症領域における研究の発展へも大きく貢献しているものである。

以上のように、本論文は多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は全員一致して、本論文が博士(農学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。